



Undercoat Material 下塗材ゼロ

# Zero

内外壁用  
F☆☆☆☆

土壁、珪藻土、洗い出し、掻き落とし、モルタルなどの湿式建材のひび割れ防止対策の下塗り材〈ガラス繊維混入タイプ〉  
優れた接着力で下地を選びません。

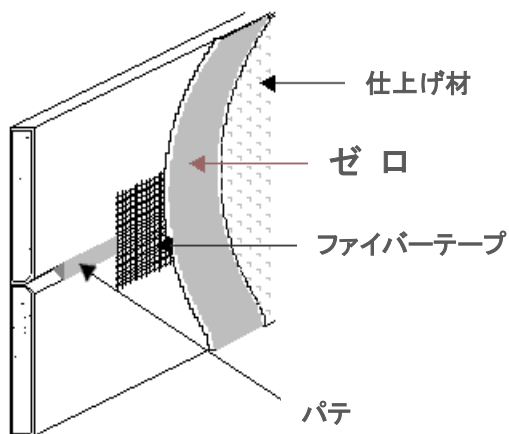
用途	標準色(全2色)
●土壁、珪藻土、洗い出し、掻き落とし、モルタルなどの湿式建材の下塗り材として。	 Z-1(グレー)
●ビニールクロス、タイル、石の上から直接塗れるリニューアル下塗材として。	 Z-2(白)

ゼロが接着する下地	施工器具
石膏ボード、セメントボード、コンパネ、ベニヤ、鉄板、珪カル板、FGボード、塗装、吹付、石材、タイル、ブロック、ALC、モルタル、コンクリート、ビニールクロス、サイディングボード、アルミ、ステンレス、アクリル板、ガラス、スタイロ、発泡スチロールなど	角コテ、極薄角コテ(厚 0.3mm)、各種コテ、コテ板、かくはん機、バケツ、延長コード、おわんこ、水ヒシヤク、霧吹き、養生材など

荷姿	混練方法												
<table border="1"> <tr> <td>製品名</td> <td>ゼロ</td> </tr> <tr> <td>使用箇所</td> <td>内外壁用</td> </tr> <tr> <td>荷姿</td> <td>粉末 10kg(袋)</td> </tr> <tr> <td>標準塗り厚</td> <td>約 1mm</td> </tr> <tr> <td>標準加水量</td> <td>約 3.3~3.8kg(袋)</td> </tr> <tr> <td>標準施工量</td> <td>約 10 m<sup>2</sup>(袋)</td> </tr> </table>	製品名	ゼロ	使用箇所	内外壁用	荷姿	粉末 10kg(袋)	標準塗り厚	約 1mm	標準加水量	約 3.3~3.8kg(袋)	標準施工量	約 10 m <sup>2</sup> (袋)	<p>本品を開封してバケツに移し、標準加水量の約80~90%の清水を入れ、ダマが残らないようにかくはん機にて混練してください。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>作業軟度になるように調整しながら残りの清水を加え、かくはん機にて混練してください。</p> <p>※作業中にバケツの中で材料が締まってきた場合は、標準加水量に関わらず加水して、硬さを調整してください。</p> <p>※本製品はセメント系の下塗り材です。 加水した材料は夏季 2~3 時間以内、冬季 3~4 時間以内に使い切ってください。</p>
製品名	ゼロ												
使用箇所	内外壁用												
荷姿	粉末 10kg(袋)												
標準塗り厚	約 1mm												
標準加水量	約 3.3~3.8kg(袋)												
標準施工量	約 10 m <sup>2</sup> (袋)												
<table border="1"> <tr> <td colspan="2">日本建築仕上材工業会登録</td> </tr> <tr> <td>放散等級区分</td> <td>F☆☆☆☆</td> </tr> <tr> <td>登録番号</td> <td>0904008</td> </tr> </table>	日本建築仕上材工業会登録		放散等級区分	F☆☆☆☆	登録番号	0904008							
日本建築仕上材工業会登録													
放散等級区分	F☆☆☆☆												
登録番号	0904008												

## 石膏ボード下地 施工手順

## 石膏ボード下地の目地処理方法



## ▶養生

施工面以外に材料が付着しないように、マスキングテープやマスカーなどで十分に養生をしてください。



## ▶継手処理

ファイバーテープ貼り→パテ埋め  
※パテは継手部分の浮きや剥がれを防ぐため、樹脂製パテの使用を推奨します。



## ▶ゼロの塗り付け

パテが乾燥後、塗り厚が 1mm 程度になるように角コテで材料を塗り付けてください。  
※塗り付けの際は、入隅など切れるところまで一気に塗り付けてください。(塗り継ぎ禁止)

↓ 乾燥時間: 10~30 分程度

## ▶コテ押さえ

締まり具合を見て、平滑になるように角コテで押さえてください。  
※仕上げ材が 3mm 以上の厚塗り仕上げの場合、コテ押さえは必要ありません。



## ▶養生の撤去



## ▶乾燥時間:12 時間以上



## ▶各種仕上げ材の塗り付け

## ◆ベニヤ・コンパネ下地の場合

ベニヤ・コンパネなどの合板下地の場合、アク止め処理が必要です。養生後、継手処理を行う前にフジワラ化学・水性アクドメール等のアク止め材でアク止め処理をしてください。

## ◆珪カル板・FG ボード下地の場合

珪カル板・FG ボード下地の場合、ゼロ塗り付け時の急激な水引きを押さえるためにプライマー処理が必要です。NS ハイフレックスやハイモルエマルジョン等の接着剤 10~15 倍液(接着剤 1:水 10~15)をローラーやハケなどで珪カル板や FG ボード面に直接塗布し、塗り付けたプライマーを乾燥させてからゼロの塗り付けをしてください。

\*プライマーは 1 回塗りでは均一に塗れないため、2 回塗りをしてください。

## 作業のポイント

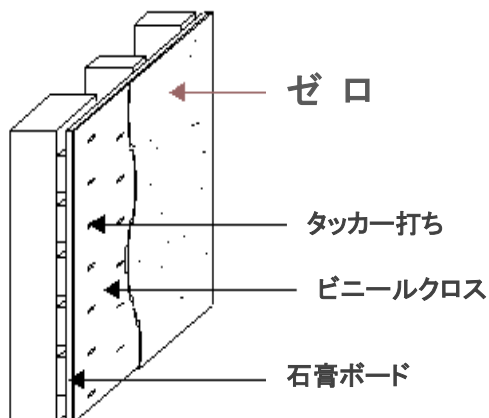
- ◆塗り付けの際は、入隅など切れるところまで一気に塗り付けてください。時間を置いて途中から塗り続けると、塗り継ぎ部分に段差が残りますのでご注意ください。
- ◆仕上げ材が 3mm 以上の厚塗り仕上げの場合、コテ押さえは必要ありません。  
但し、仕上げ材が 2mm 以下の薄塗り仕上げの場合は、丁寧に塗りつけてコテ押さえをしてください。
- ◆コテ押さえの際は、霧吹きで水を吹きながら極薄角コテ(厚 0.3mm)で押さえると、より平滑に押さえることができます。
- ◆塗り付けたゼロが手で触って乾いていれば、12 時間以上待たずに次の工程に移っていただいて大丈夫です。  
但し、手で触って水分を含んでいた場合は、完全に乾燥させてから次の工程に移ってください。  
\* 塗り付けたゼロを早く乾燥させたい場合は、施工箇所に扇風機をあてると乾燥時間を短縮できます。  
[扇風機を使用した場合の乾燥時間] 夏季 1~2 時間、冬季 2~3 時間
- ◆乾燥した下塗り材ゼロを手で触ると、骨材の粒が表面に残っていることがあります。  
その場合は、乾いた左官ハケやホウキなどで表面の骨材をよく落としてから、各種仕上げ材の塗り付けをしてください。

### ◇推奨品

<p style="text-align: center;">ファイバーテープ</p>  <p style="text-align: center;">メーカー(株) MKブリッジテープ(幅 35mm×90m)</p>	<p style="text-align: center;">樹脂製パテ</p>  <p style="text-align: center;">関西パテ化工(株)一発パテ</p>
<p style="text-align: center;">極薄角コテ(厚 0,3mm)</p>  <p style="text-align: center;">(株)東京西勘 ゴールデン富士 極薄角コテ(厚 0,3mm) サイズ 240</p>	<p style="text-align: center;">かくはん機</p>  <p style="text-align: center;">(株)マキタ かくはん機 UT1305</p>

## ビニールクロス下地 リニューアル施工手順

リニューアル時、既存のビニールクロスに直接塗れるので、クロスを剥がす必要がありません。



### ▶下地の確認

#### ビニールクロスの状態の確認

※和紙、布製クロスなど、ビニールクロス以外のクロスに本製品は使用できません。



### ▶タッカー打ち

ピッチは 10～20cm 程度に細かく打ちます。  
クロスの端・ジョイント部分は、特にピッチを細かく打ちます。



### ▶ゼロの塗り付け

養生後、水を加えて混練した本製品を塗り付けます。

## 性能

項目	ゼロ	備考
圧縮強さ(kgf/cm <sup>2</sup> )	240	JIS A 6203 に準じる
下地との付着強さ (N/mm <sup>2</sup> )	コンクリート	2.41
	ALC	0.74
	石膏ボード	0.34
	珪カル板	0.69
	コンパネ	1.62
	木板	1.51
	御影石・大理石	2.53
	ステンレス	0.74
	ブリキ	0.65
	フレキシブルボード・サイディングボード	1.30
	ガラス	1.36
	プラスチック	0.21
	スタイロホーム	0.28
耐衝撃性	割れ・剥がれ無し	JIS A 6203 に準じる

建築研究所方式引張試験器による  
塗り厚:1mm  
養生:7日  
気温:23℃  
湿度:60%  
3箇所測定後、平均値算出

---

## 施工上の注意

---

- 天災(極度の地震や台風など)、構造上(地盤の軟弱な建物、揺れを起因する交通量の激しい道路に面した建物、高層ビルの構造など)、木下地(コンパネ・ベニヤなどの合板の乾燥不足による急激な収縮等)、継手処理の不備、下地の結束不良によるあばれ、異種な下地の継手など、本製品には影響がなくても仕上げ材に影響がでてヒビ割れすることがあります。
- 本製品は仕上げ材そのものによるヒビ割れには対応しません。
- 本製品は下地の取り付け不良などの不具合を補填するものではありません。
- 京壁・聚楽壁などの砂壁の上に、本製品は使用できません。
- ビニールクロス以外のクロス(和紙、布製クロスなど)に、本製品は使用できません。
- 施工の際は、施工箇所以外に材料が付着しないように、十分に養生をしてください。  
又、施工箇所以外に材料が付着した場合は、速やかに拭き取ってください。
- 本製品はセメント系の下塗り材です。  
水を加えた材料は、夏季2~3時間、冬季3~4時間以内に使い切ってください。
- 記載の乾燥時間は、気候、温度、湿度などによって変わりますのでご注意ください。
- 気温が5℃以下の場合や湿度が高い場合は、施工を見合わせるか暖房が必要になります。
- 道具・衣服についた汚れは、速やかに洗い流してしてください。
- 施工の際は、必ず塗り厚・手順を守って施工してください。

---

## 安全上の注意

---

- 本製品が誤って、目、鼻、口、喉に入った際には速やかに清水で洗浄してください。  
また、状況に応じて医師の診断を受けてください。
- 取り扱いの際は、状況に応じて適切な保護具を着用してください。
- 配送や保管にあたってはセメントと同様とし、水濡れ、湿気等には十分ご注意ください。
- 本製品(袋)を乱暴に扱うと、袋が破損して開封してしまうことがあります。  
運搬や搬入など取り扱いの際は十分ご注意ください。
- 本製品を廃棄する際は、産業廃棄物として適切な廃棄をしてください。

[製造元・販売元]

### アース・ジャパン株式会社

東京 〒132-0033 東京都江戸川区東小松川 2-19-9  
TEL:03-5879-2246 FAX:03-5879-2247  
本社 〒370-0802 群馬県高崎市並榎町 164  
TEL:027-386-4561 FAX:027-386-4562  
E-mail:info@ea-jp.com URL:www.ea-jp.net

[20240318 改訂版]  
©earth japan inc.